

林道殿野坪内線

奈良県（森林整備課）

1. 再評価対象事業一覧表
2. 事業評価項目一覧表
3. 説明資料

事業評価項目一覧表

事業名	林道開設事業	事業主体	奈良県
河川・道路名等	殿野坪内線	事業箇所	五條市大塔町殿野 天川村坪内
評価項目及び評価内容			
<p>事業の目的及び必要性</p> <p><input type="checkbox"/> 目的 森林施業の推進、林業生産性の向上及び保育作業の労働条件緩和を図る。 道路交通網の構築を図り、生活環境基盤の整備を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> 必要性 峰越しに結ぶ林道であり、道路交通網の骨格となる。 長期にわたる森林の整備、また災害時の迂回路機能の整備を図る。</p>			
<p>事業策定の経緯</p> <p><input type="checkbox"/> 当時の状況 林業従事者は、保育等の森林整備に徒歩通勤を余儀なくされていた。 大塔町殿野と天川村坪内間の集落の往来に時間を要していた。</p> <p><input type="checkbox"/> 着手までの経緯 森林整備、木材搬出、生活道路のために平成8年度より着手。 地元住民及び森林所有者の強い要望があった。</p>			
<p>事業の効果(費用対効果や施策的な効果など)</p> <p><input type="checkbox"/> 計画時の効果 森林整備の推進と山林への通勤時間の短縮と安全を図る。 林道開設により、観光道路の機能及び災害時の緊急迂回路の強化が図られる。</p> <p><input type="checkbox"/> 現時点の効果 (費用対効果：1.06) 森林の保育作業が推進され、林業就労者の労働条件が改善されている。</p>			
<p>事業の進捗状況(着手時からの社会経済情勢の変化、事業の問題点、克服度など)</p> <p><input type="checkbox"/> 進捗状況 平成25年度末の進捗率は62.8% (完成16,040m / 計画25,551m)</p> <p><input type="checkbox"/> 執行の遅延及び原因 県の財政状況が厳しく、必要な事業費が確保できなかった。また紀伊半島大水害を始めとする大雨によって既設路線が被災し、工事期間が十分に確保できなかった。</p>			
<p>事業進捗の見込み</p> <p><input type="checkbox"/> 進捗の対策 平成25年度までに16,040m開設し、今後も早期全線完成を目指す。</p> <p><input type="checkbox"/> 進捗の見込み 平成41年度事業完了予定</p>			
<p>事業の対策 平成41年度の完成を目標に早期の事業完了に努める。</p>			
<p>その他</p> <p><input type="checkbox"/> 関係機関等の意向 地元住民、森林組合より早期完成の要望がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 関連事業の有無 無し</p>			

林道 殿野坪内線

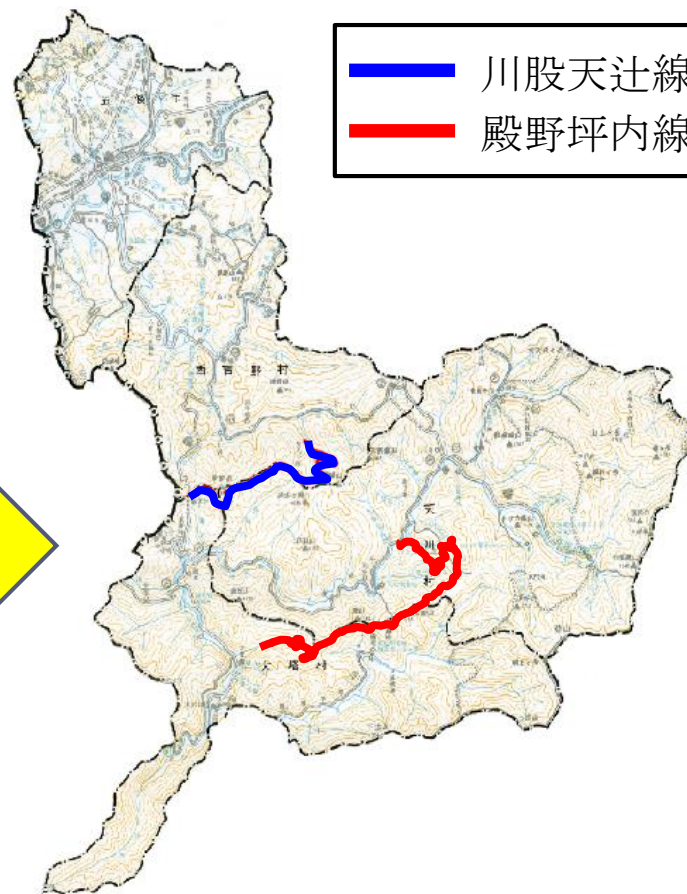
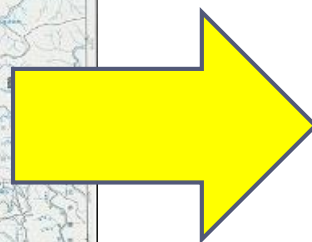
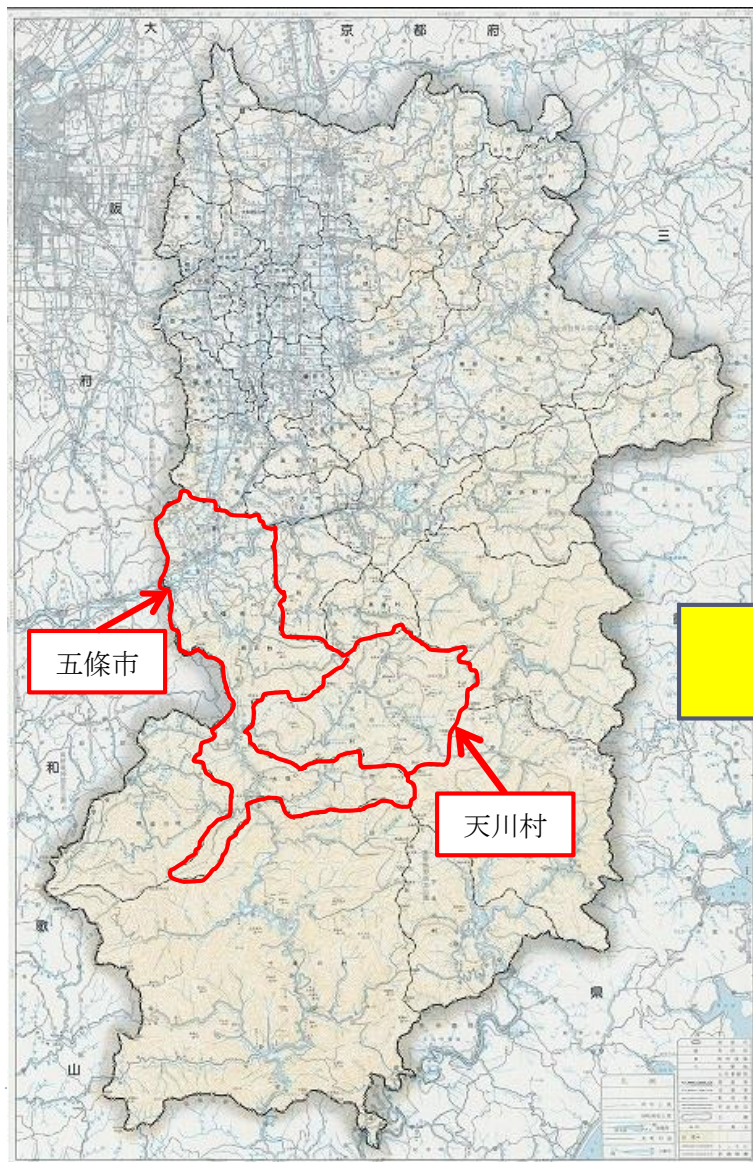
1. 路線の現況
2. 事業効果
3. 今後の方針

1. 路線の現況

- ① 路線位置
- ② 森林資源の概要
- ③ 全体計画

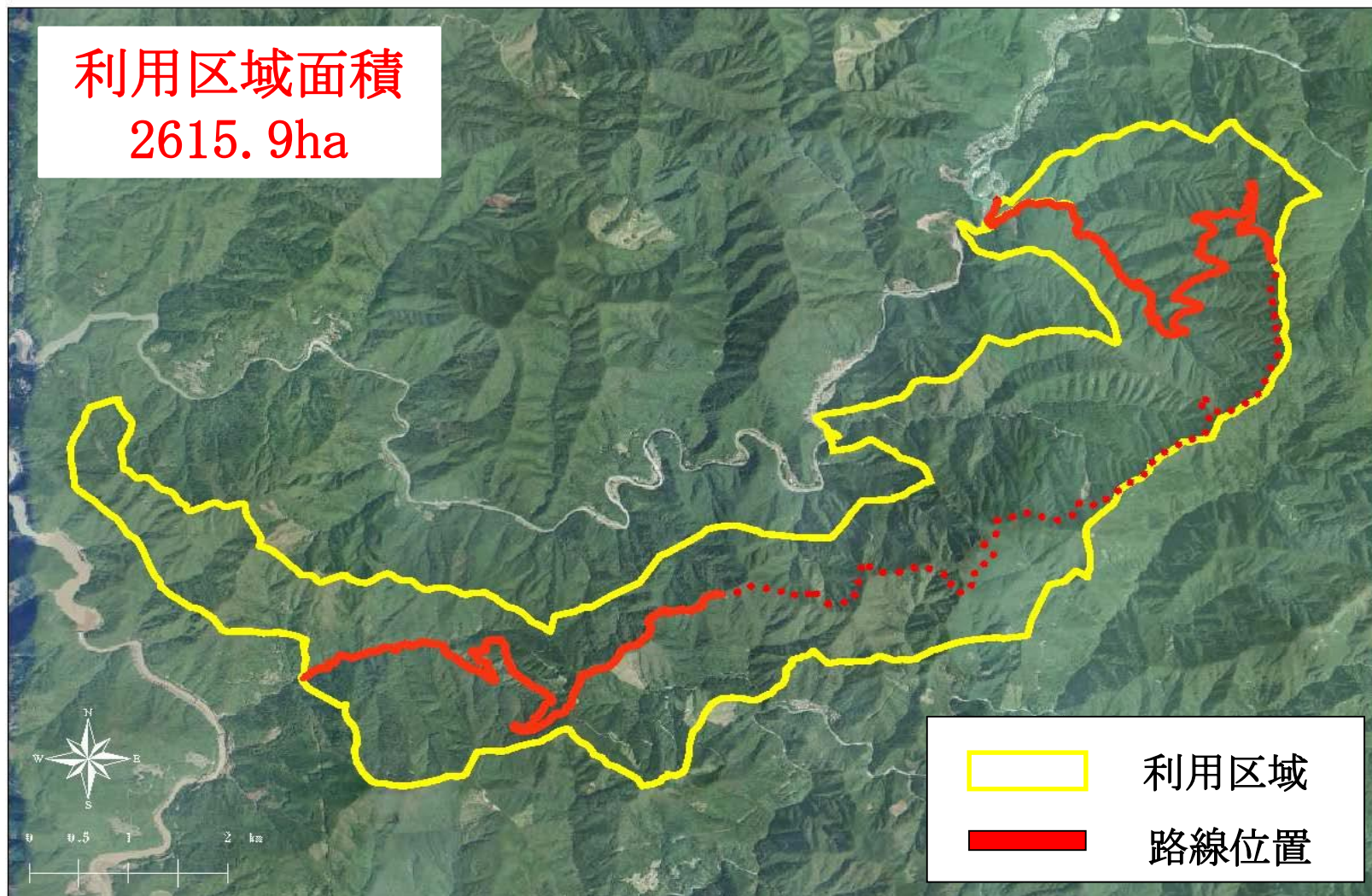
1. 路線の現況

① 路線位置



1. 路線の現況

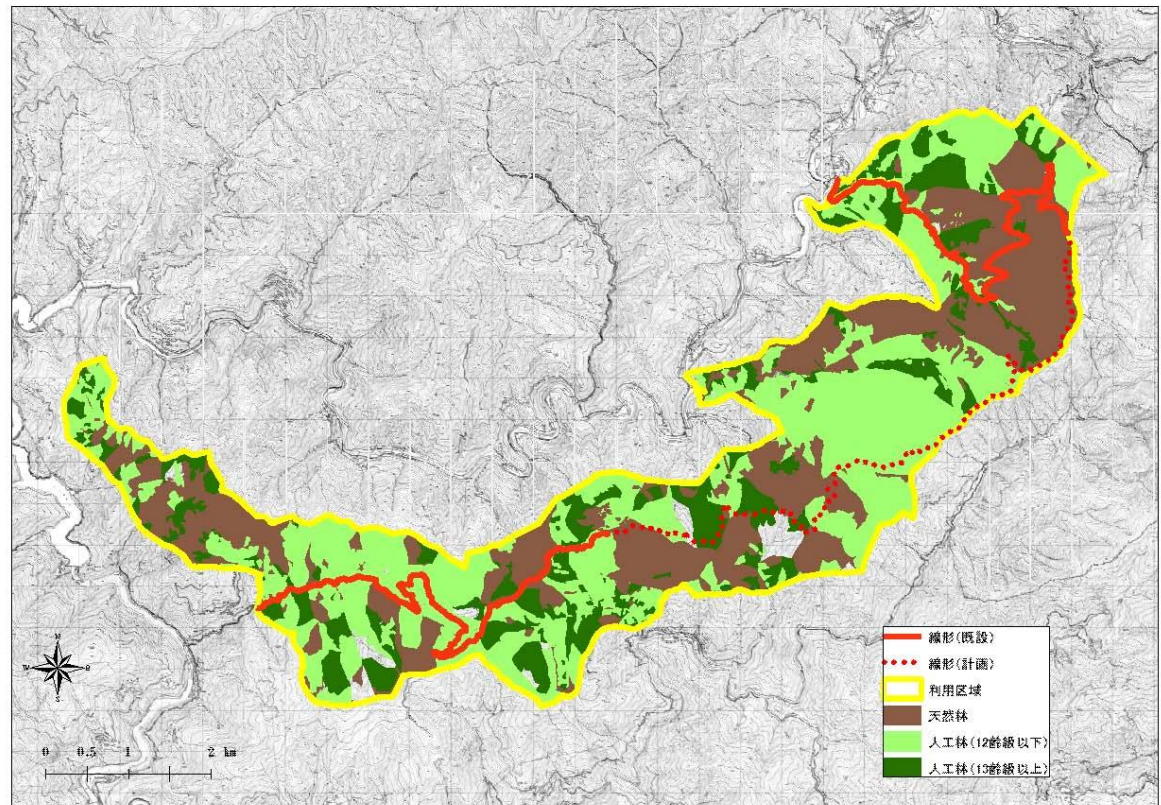
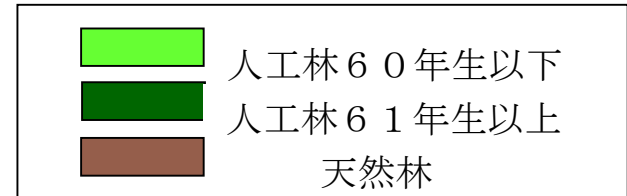
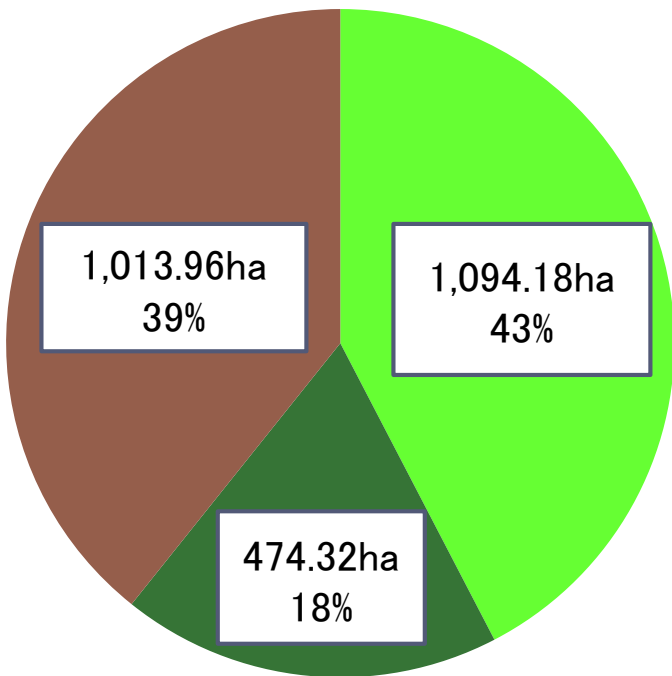
②森林資源の概要 (1)利用区域



1. 路線の現況

②森林資源の概要

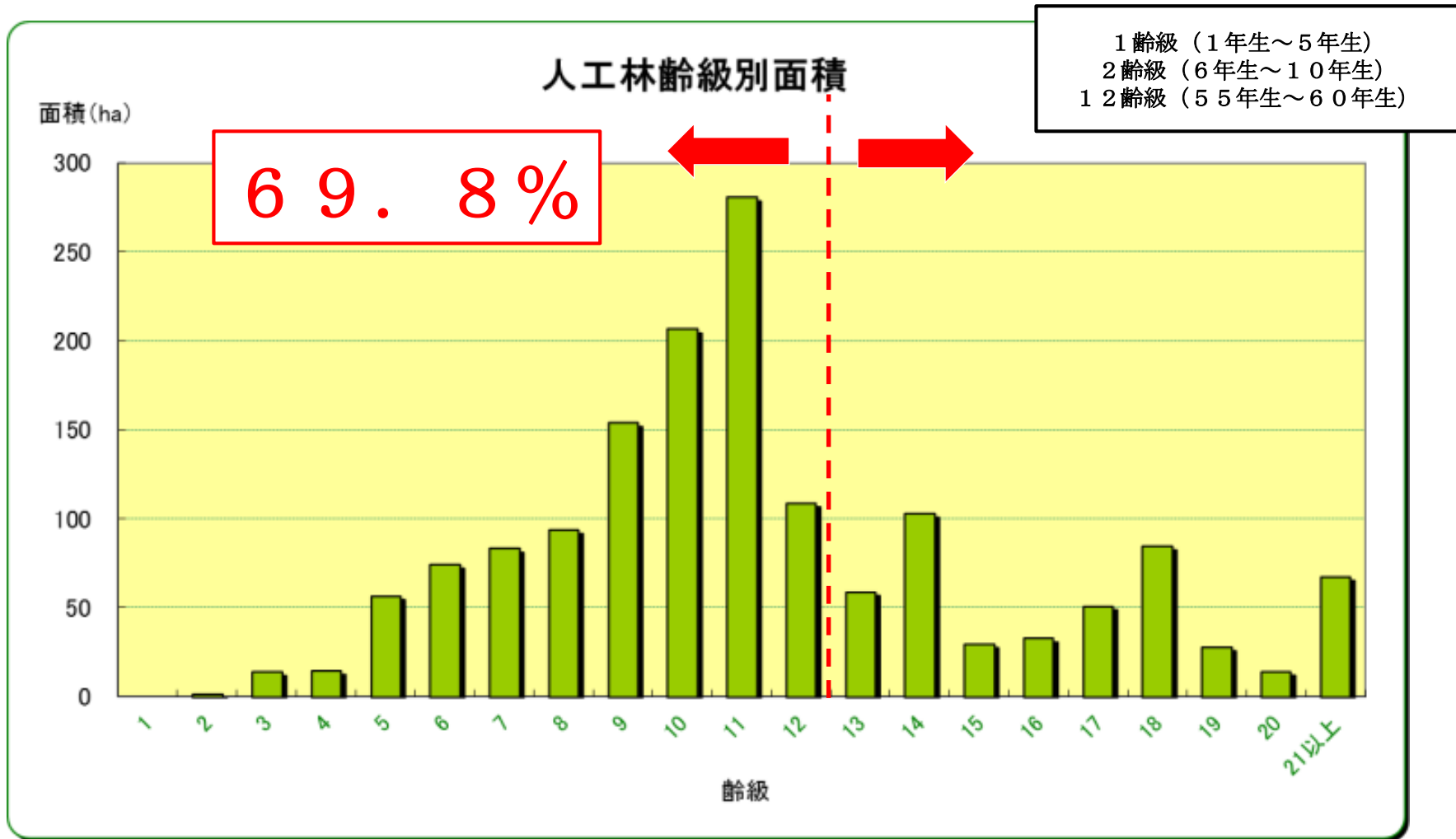
(2) 森林資源の内訳



人工林計
1,568.5ha
61%

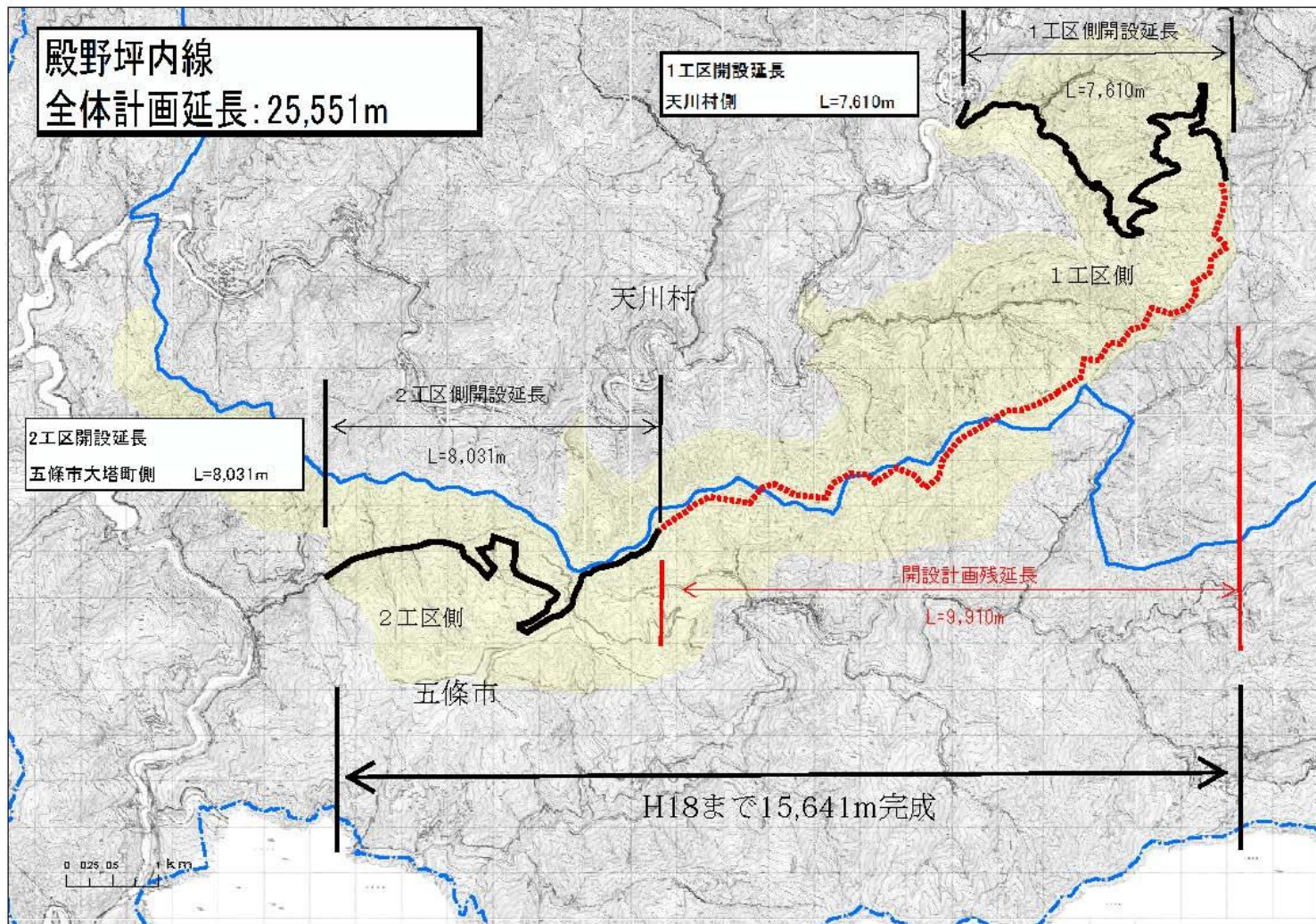
1. 路線の現況

②森林資源の概要 (3)人工林齢級別面積



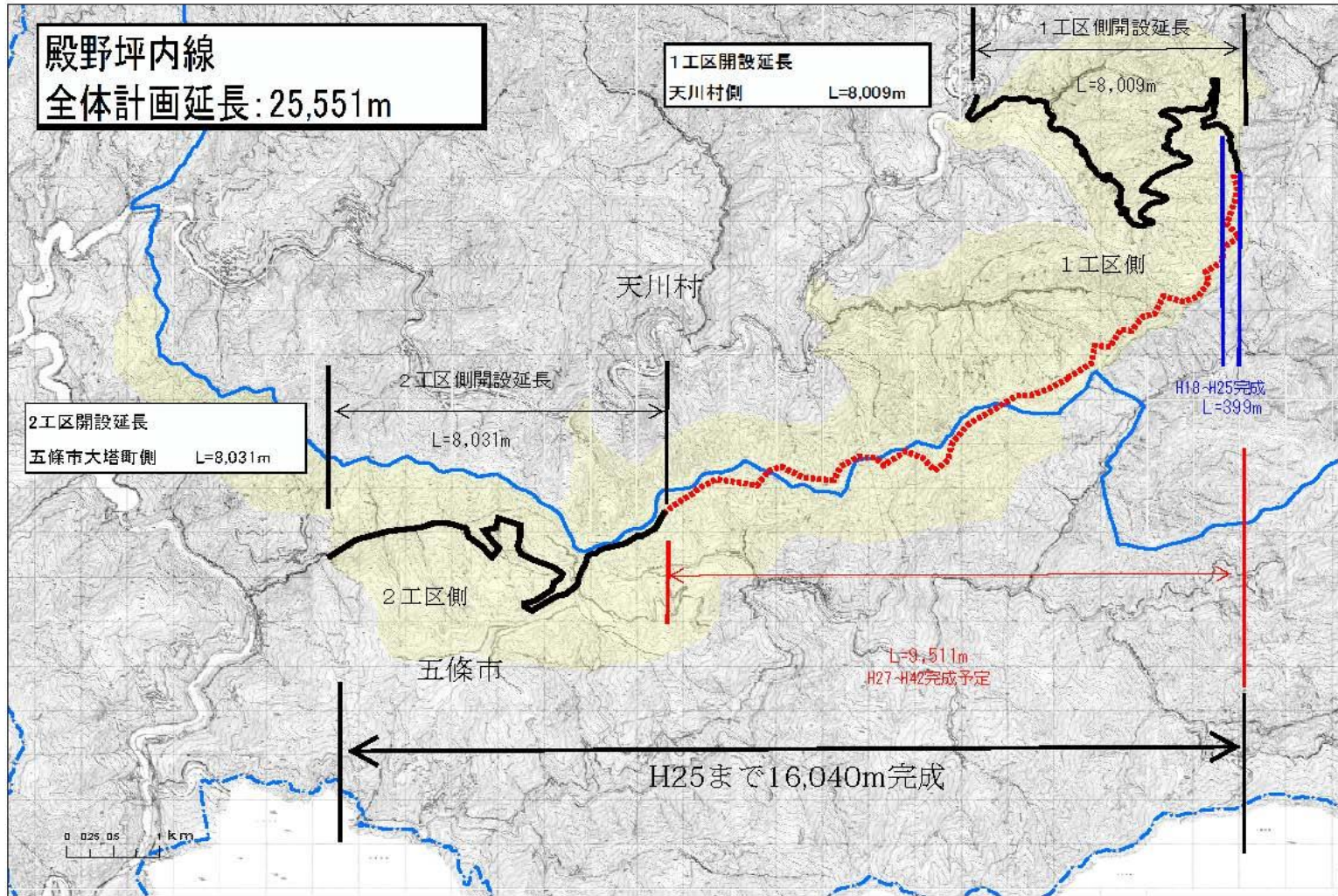
1. 路線の現況

③全体計画 (1) 前回事業評価時の計画 (H18)



1. 路線の現況

③全体計画 (2) 事業進捗状況 (H18~H25)

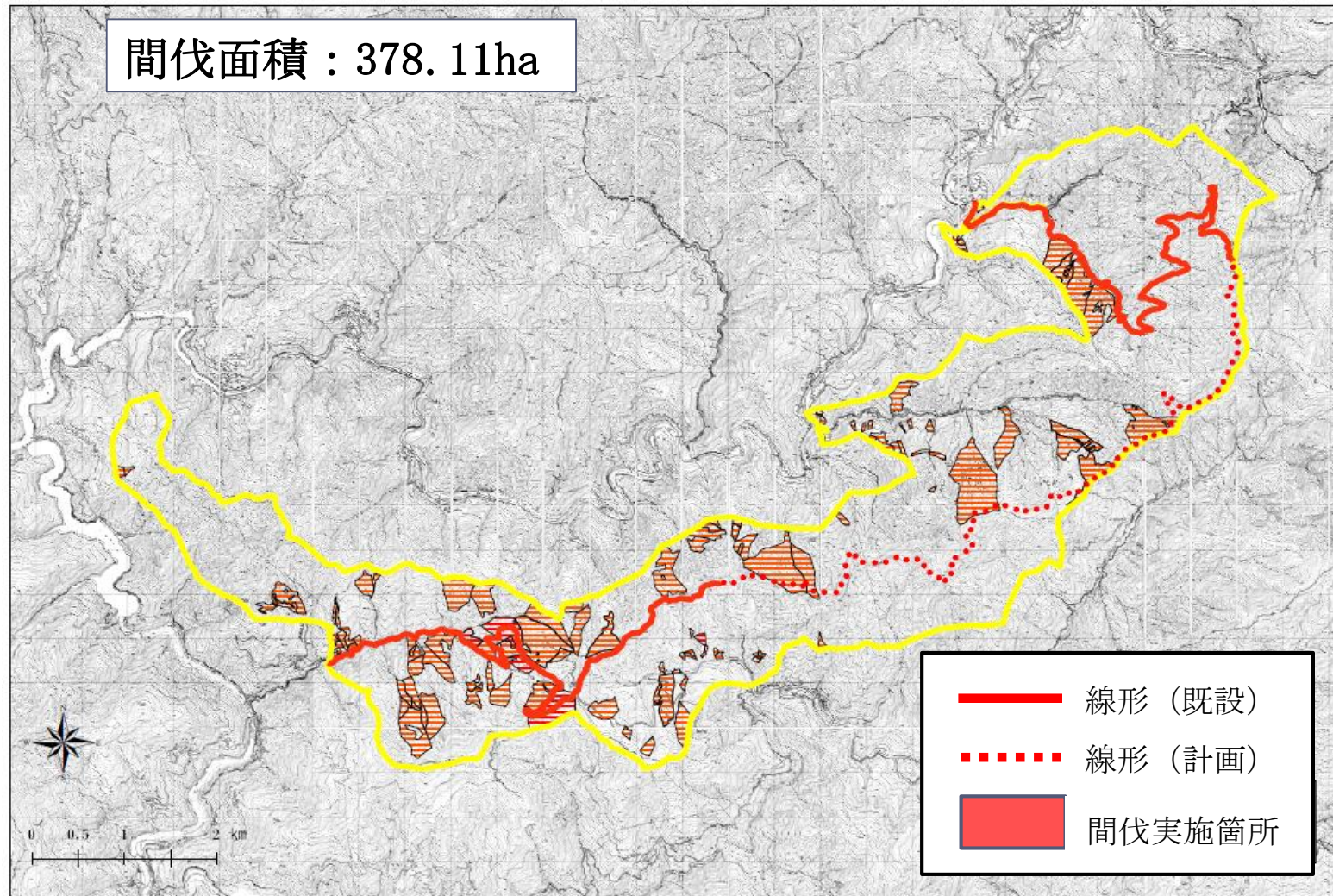


2. 事業効果

- ①森林整備の推進
- ②災害時の緊急迂回路としての役割
- ③観光道路としての役割

2. 事業効果

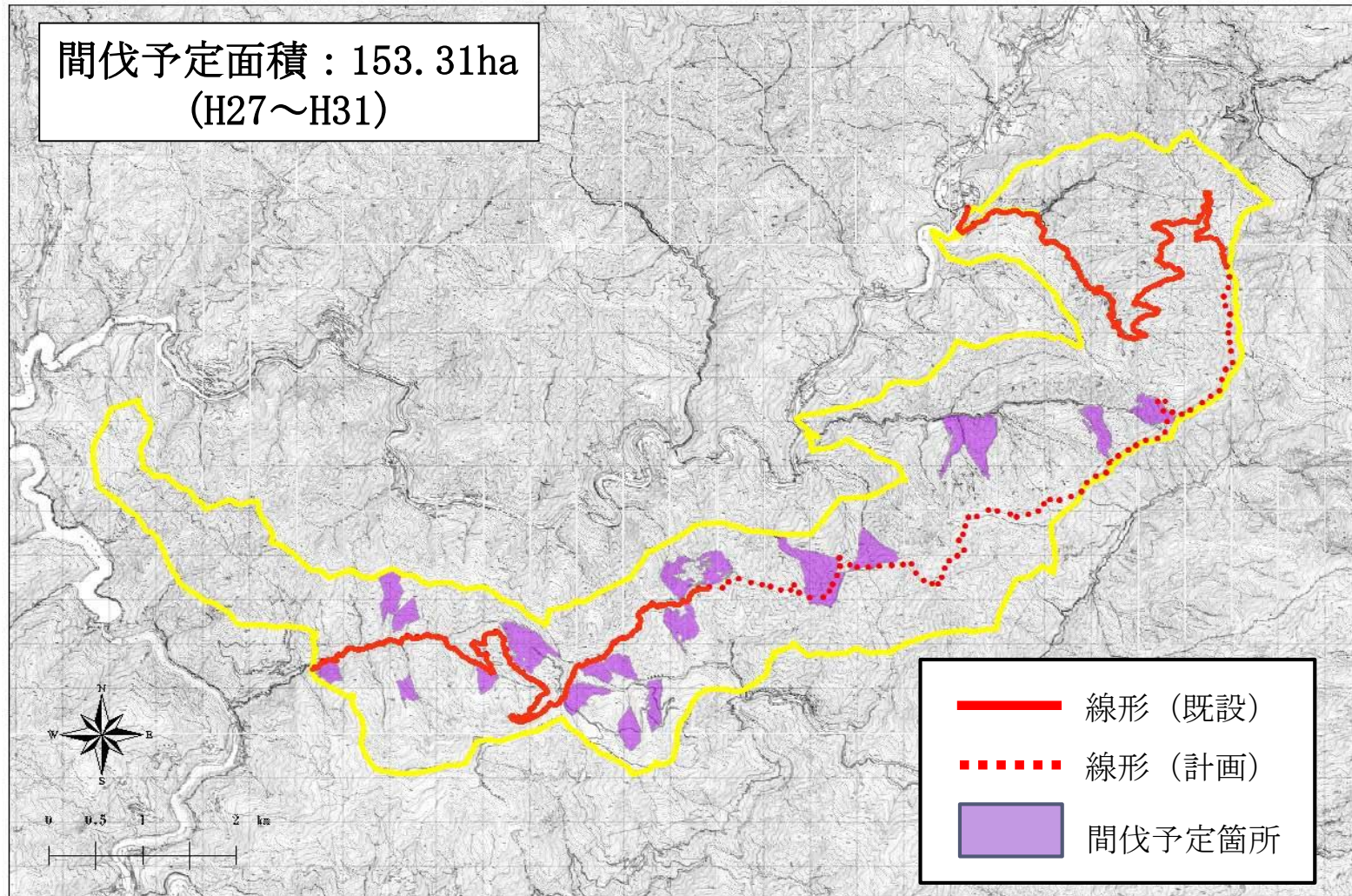
①森林整備の推進 (1) 間伐実績 (H18~H25)



2. 事業効果

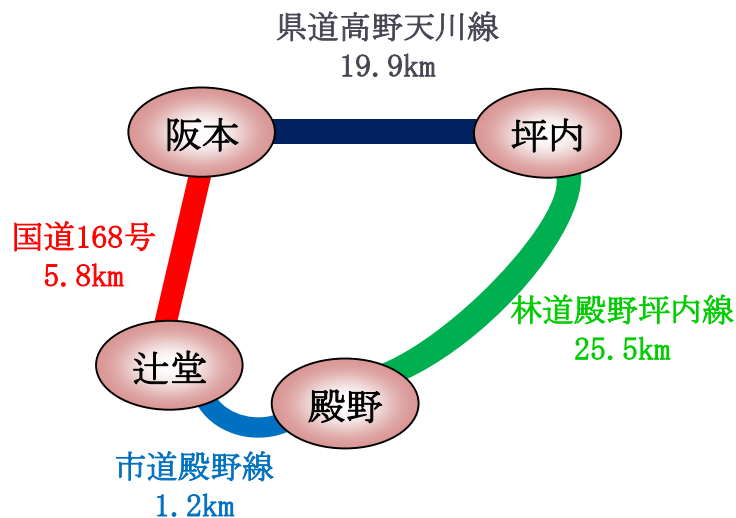
①森林整備の推進

(2) 今後の間伐計画



2. 事業効果

②幹線道路としての役割 (1)生活道路への利用



坪内地区～殿野地区

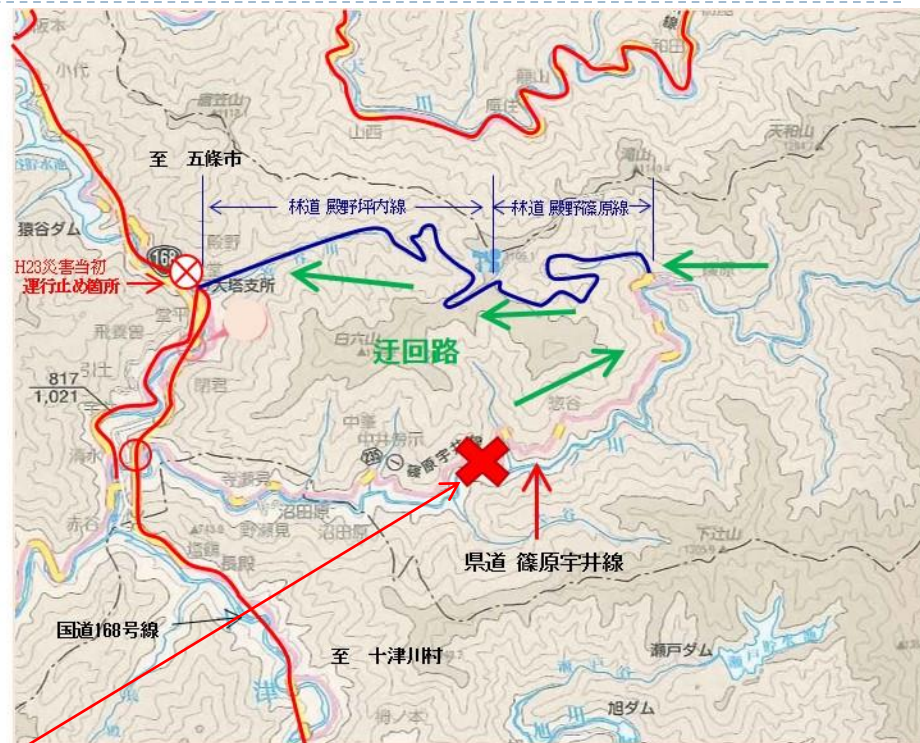
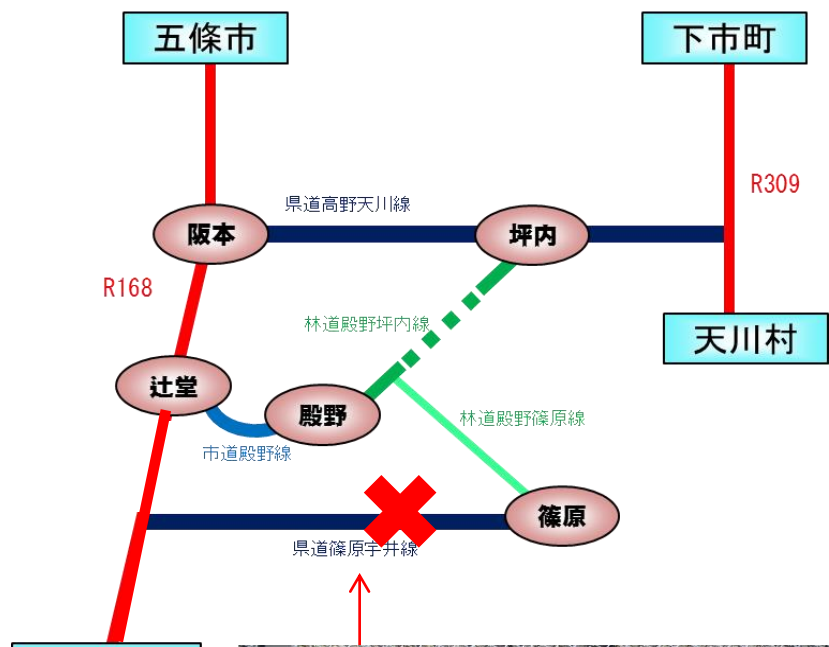
	距離	時間
現在	26.9km	60分
	↓	↓
完成後	25.5km	50分



約10分の時間短縮

2. 事業効果

②災害時の緊急迂回路としての役割



紀伊半島大水害発生時及び
現在も林道を生活道として利用

2. 事業効果

③観光道路としての役割

天の川温泉



天川弁財天



洞川龍泉寺



大峰山登山口



ふれあいの森キャンプ場



天川村



洞川温泉



天の川青少年旅行村



ごろごろ水



2. 事業効果

④費用対効果について

①総費用 4, 599, 619千円
(※全体計画見直し後の総費用)

②総便益額 4, 893, 774千円

総便益額のうち、主な効果

木材生産等便益
1, 091百万円

森林整備経費
縮減等便益
3, 802百万円

災害等軽減便益
1. 0百万円

$$\text{費用対効果} = 1.06 \\ (\text{B} / \text{C})$$

※費用対効果については林野庁の定める「林野公共事業における事前評価マニュアル」を適用

3. 今後の方針

- ①全体計画の見直し
- ②コスト縮減
- ③紀伊半島大水害からの復旧・復興

3. 今後の方針

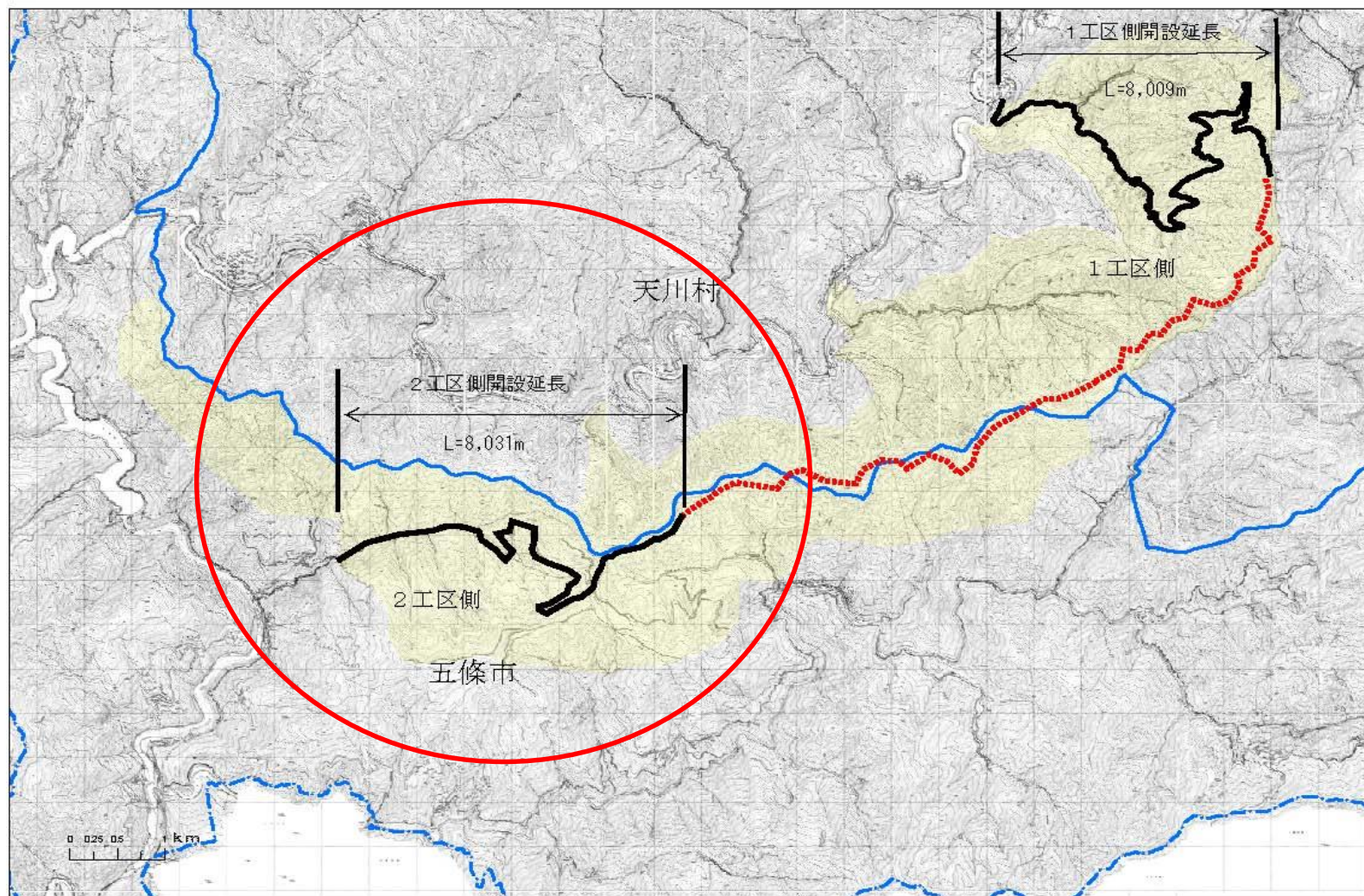
①全体計画の見直し (1) 1工区側



河道閉塞を起こし、林道が水没

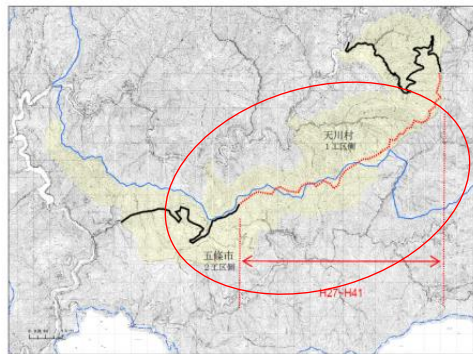
3. 今後の方針

①全体計画の見直し (2) 2工区側



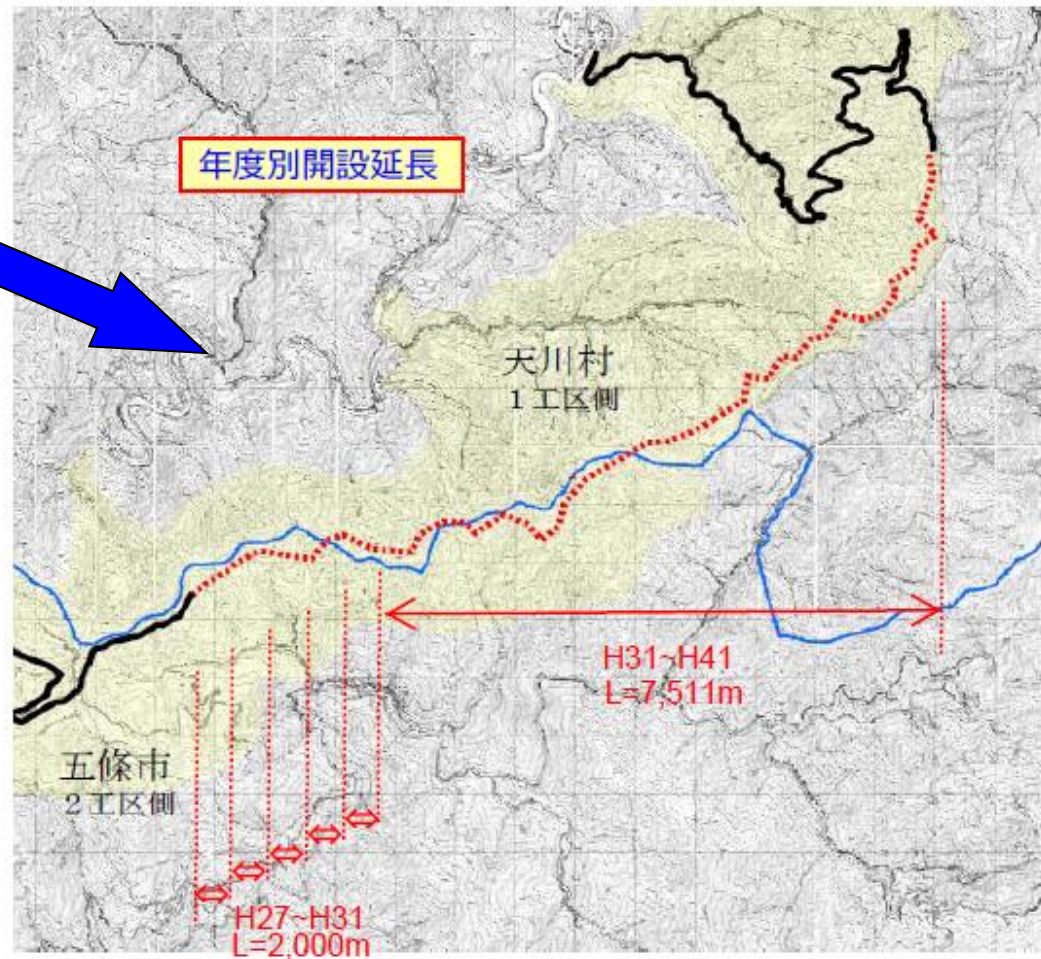
3. 今後の方針

①全体計画の見直し (3)年度別開設計画



前回計画	
事業期間	未定
評価期間	H18～H22
全体延長	25,551m
全体事業費	3,300,000千円

計画見直し	
事業期間	H8～H41
評価期間	H27～H31
全体延長	25,551m
全体事業費	3,027,000千円



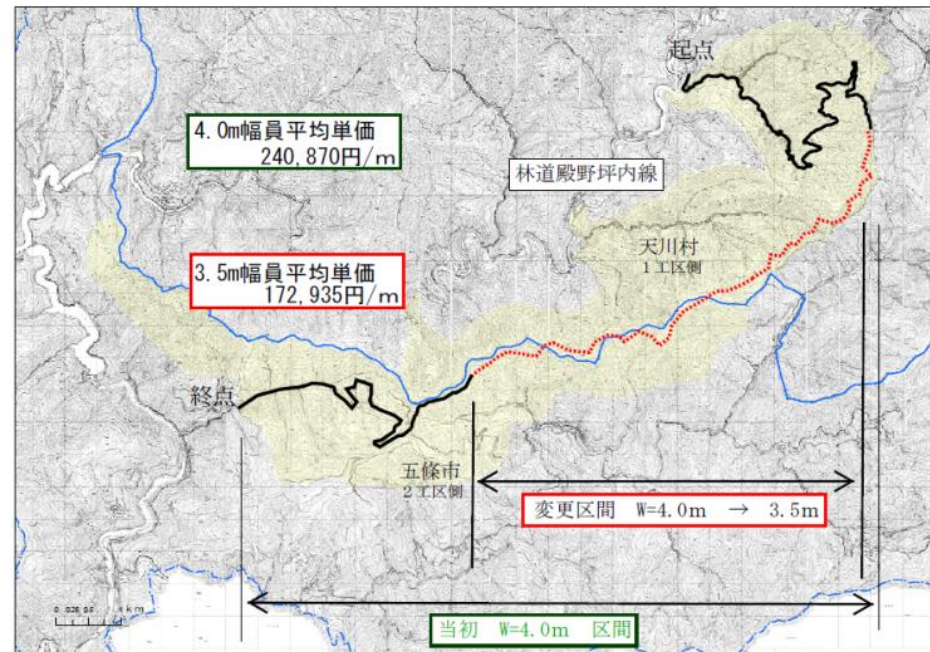
3. 今後の方針

②コスト縮減の取り組み

○幅員の縮減

4.0m → 3.5m

開設単価 240千円/m
→ 173千円/m
縮減率約 28%



○現地発生材の有効利用

擁壁工に補強土壁工を採用

→ 現地発生材を活用し、**残土排出量**を削減

縮減率約 5%

3. 今後の方針

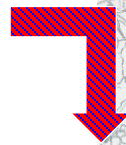
③紀伊半島大水害からの復旧・復興



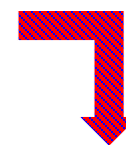
3. 今後の方針

③紀伊半島大水害からの復旧・復興

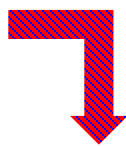
殿野篠原線



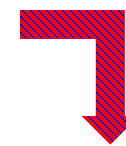
殿野坪内線



川津今西線



那知合永井線



3. 今後の方針

③紀伊半島大水害からの復旧・復興

平成23年に発生した紀伊半島大水害により甚大な大きな被害が発生した五條市及び天川村では、復旧・復興に全力で取り組んでいます。



林道殿野坪内線の利用区域内には今後も施業可能な人工林が多く存在するため、重要産業である林業の振興に大きく貢献します。

林業の振興は両市村の復旧復興に繋がることから、地元住民や関係者は早期全線開通を強く願っています。

林道殿野坪内線の早期全線開通に向け、事業を継続してまいります。